



▲ 質の高い保育でみんな元気に

議員 経営改革プランで公立保育園の22年度民営化実施が打ち出されている

公立保育園の民営化は必要か

望月 久晴 議員

るが、市民が求めているのは、民営化ではなく、より質の高い保育である。民営化は行うべきではないのでは。

下水道料金値上げ中止を

議員 平成12年度以来値上げしていないことを理由に、20年度下水道料金の値上げを実施とあるが、市民生活に大きな影響を与える。一般会計からの繰り出しもあるが、本市の財政力から見れば問題になる額ではないので、値上げは見送るべきではないか。

都市整備部長 本市の下水道料金は他市と比べて、

大変安いこと、一般財源からの繰り出しが大きいことなど下水道事業の健全経営を目指して検討していきたい。

国保税値上げ見直しを

議員 国民健康保険税の値上げを19年度実施とあるが、市民の所得が伸び悩み、定率減税廃止で税負担が増えている中で、国保税増税は問題ではないか。

福祉部長 国保会計は危機的状況にあり、平成16年度その他一般会計繰入金金は約12億円を受けている状況であり、何とか改善したい。

議員 確かに大きな繰入金はあるが、本市の財政力は埼玉一で他市との比較でもダントツであり、自治体の財政状況から見れば問題ではないのでは。

福祉部長 国保財政の健全化と安定化を図るため、税率の適正化が必要と考

えている。

自転車の交通マナー向上を

召田 厚 議員

だ施策を検討し、施行していただくため、①交通ルール、安全指導等の現状はどうか。②今後、目に余る違反者等に対する注意、指導等、強化の考えについて伺いたい。

市民生活部長 ①現在、



▲ よく見てから通ろうね

学校を中心に交通安全教室を実施するとともに、広報やピラによる啓発活動を行っている。②現在行っている事業の強化を図り、対応していく。

総務部長 地域支援パトロール隊、

市内2カ所の安全ステーション職員、委託警備員による積極的な注意、啓発を行っているつもりである。

子どもに対する犯罪防止を

議員 相変わらず子どもに対する理不尽な犯罪が多発しているが、建築物や住民、建築主に対して、①マンション、ショッピングセンター等、建物構造が絡む事件を防止するための安全対策等指導は行っているか。②少年による犯罪が増えてきているが、犯罪防止に対する啓発活動、指導の状況について伺いたい。

総務部長 市職員によるパトロール等の警備の強化、少年に対し声かけ等を行っている。

都市整備部長 防犯マンションについて研究する。教育部長 死生観については慎重に取り組む。

一般質問

市出資団体の

予算・決算のチェックは

遠藤 英樹 議員

議員 市の出資法人は実質的に市の役割の一部を担っているにも関わらず、制度上議会のチェック機能は十分には及ばない。そこで、これらについて質問し、議会として市民への責任を果たしたいと考える。

①土地開発公社について予算を大幅に上回る実績を残したがその要因は。

②公園緑地公社について駐車場の有料化に伴う財源の充実を繰越金にせず、市からの補助金の停止や事業の拡大に生かせないか。

③文化体育振興事業団について共催事業の拡大はできないか。

総務部長・都市整備部長 ①積極的に市が買い取りを進めた結果である。②

取り組んでいく。③検討していく。

国際理解教育の本質を問う

議員 本市は国際理解教育の先駆者である。日本の文化や歴史を教えることこそが国際人への第一歩と考えるがどうか。

教育長 同感であり、力を入れていきたい。

学童の保護者、地域による運営の可能性は

議員 福岡県春日市では、放課後留守家庭保育室の運営を保護者で組織



▲ 学童保育室で宿題をする子どもたち

したNPOが行っている。保護者等の自立した運営が良好な児童の放課後の環境を生み出している。本市でも学童クラブの活動を活性化するための方法によって、このシステムを導入できないか。

福祉部長 まだ春日市とは現状に開きがあると考えられるので、今後、関連団体と連携を取りながら検討をしていきたい。

七かき

工業地域周辺の大型トラック対策を

浅井 隆夫 議員



▲ 大型トラックの通行に規制を

議員 笹目北町・美女木東等にわたり、市内最大

の工業地域があり、ここは幹線道路（国道）が通る地区でもあるが、お互いを接続する大型自動車も安全に通行できる道路がほとんどなく、その多くの車両が住宅地内を通過することになり、大変危険である。当該地区から国道へのアクセス道路を早急に整備すべきだが、完成するまでの間、「笹目中前」交差点から、新大宮ハイパスへ抜ける道路は、中でも最も危険なので、できる限りの安全対策を行うべきではないか。

都市整備部長 現在、土地区画整理事業とともに進めている都市計画道路の完成により、大型自動車の生活道路への地域内流入防止が図れるため、早期実現に鋭意努力すると同時に、現在大型自動

車の通行量の多い当該生活道路については、地域の要望を踏まえ、交通管理者や関係部署とも協議し、大型車通行規制の可否を含め、交通安全対策を検討する。

職員のVDT作業と職場環境の改善を

議員 本市では全職員がVDT作業に従事者である。健康管理のため、適度な業務量の管理と、事務所衛生基準規則で定められた「換気・温度及び湿度」の管理で示されている基準に対し、満たされていない場所がある。今後徹底した調査をし、一日も早い改善を望む。

総務部長 VDT作業に關しては、労働衛生管理のためのガイドラインを策定し周知をしているが、実施結果の把握など、課題解決に向け努力する。また室温の管理等は、全体を細部にわたり測定し、快適な職場環境に改善できるように取り組む。

※VDT=コンピュータのモニター（画面）などの表示機器